

取材対応者(予定) 特色ある取組



医学部家庭医療学講座
教授 阿波谷 敏英



医学科4年生 西森友俊さん

2007年から『家庭医道場』を開催している。これは、年2回、県内の中山間地（馬路村、梶原町）において開催する1泊2日の合宿形式の課外実習である。マスコミ取材や、他大学からの視察もあるなど、本学の特徴的な取組として注目されている。参加者は医学科および看護学科の学生で、30～40人の定員に対し、参加希望者が多いため断らざるを得ないこともあるほどである。

「地域に赴き、地域の人々と接し、地域を知る」を目的とし、毎回、数名の学生実行委員がテーマ、企画を準備し、自治体、現地の保健・医療・福祉関係者に協力を仰いでいる。講演（首長、医療者、患者や家族）、グループワーク、フィールドワーク、など趣向を凝らした内容が準備され、救急、介護、看取り、子育て、保健予防活動、防災・減災など多岐にわたり能動的に学習している。中山間地の地域包括ケアシステムの深い理解に繋がっている。

地域医療に
貢献する人
材の輩出

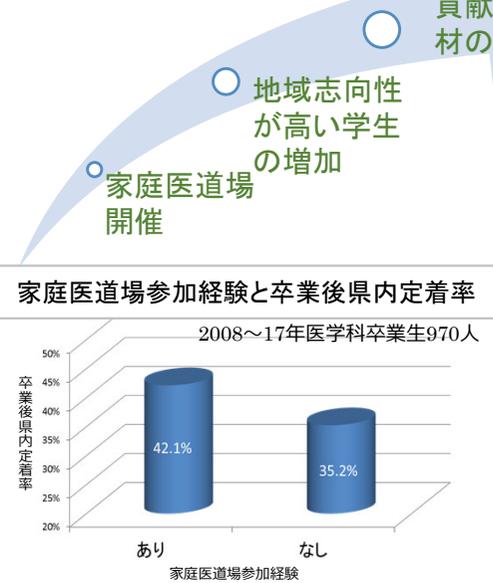


上記取組による成果・評価 など

学生が主体的に学習することにより、道場の当日だけでなく、継続した学びに繋がっている。学生は「地域医療研究会」というクラブを組織し、夏季休業中の学習塾開設、行事への参加等、地域住民との交流を続けている。

マスコミ報道や入学案内などから家庭医道場を知り、本学を志願する受験生も少なくない。

家庭医道場に参加した学生は、参加していない学生に比べ、卒業後の県内定着率が高い（右図）。2019年度には開催地・馬路村の診療所長に卒業医師が初めて着任するなど、確実な成果を上げている。



- 家庭医道場開催
- 地域志向性が高い学生の増加

参考URL

- 家庭医療学講座Webサイト
http://www.kochi-ms.ac.jp/~ff_famed/dojojo.htm
- 時事メディカル特集記事
<https://medical.jiji.com/column4/articles/?c=4>